

官民学連携による地域創生 — 資源を生かして未来を創る —

2023年2月7日
学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学
学長 田中里沙

2012 東京・南青山



2022 仙台 JR仙台イーストゲートビル



2018 福岡 JRJP博多ビル



2019 名古屋 JRゲートタワー



2018 大阪 グランフロント大阪





学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

未来を見据えた、
新しい事業を構想する人を育成する
社会人向け大学院です。

【東京／仙台／名古屋／大阪／福岡】

修士課程 2年間

学位：事業構想修士(専門職)

Master of Project Design:MPD

対象者

- ・新規事業担当者
- ・事業承継者、予定者
- ・起業を目指す方
- ・地域活性を担う方

<https://www.mpd.ac.jp/>

「地方創生×イノベーション」NO.1メディア

企業活性、地方創生、イノベーション

月刊 事業構想

projectdesign.jp

創刊 2012年9月1日
 発行 毎月1日発行
 定価 1,300円(税込)
 発行部数 50,000部(毎月)
 ウェブ 約70万PV(2015年12月実績)
 販売方法 全国書店、定期購読、WEB直販
 配本 全知事、市区町村長(読読率84%)
 その他 自治体の特集に関連した部署
 Facebook いいね!数8.0万人以上



SDGs達成への寄与

社会と共創し、未来を拓く人材を育成する

学校法人先端教育機構では、教育・研究機関として「質の高い教育」の提供と、官民連携や産官学の「パートナーシップ」の実践を軸に、SDGsの達成に貢献します。知の実践研究を通して、イノベーションの実践、産業基盤の構築、持続可能なまちづくりの実戦をSDGs重点分野として取り組んでいます。

1 **17** パートナーシップで目標を達成しよう

パートナーシップ・産官学連携の実践

新事業の開発や、地域活性化の構想計画を目指すため、官民連携・産官学連携など、マルチステークホルダー・パートナーシップの実践に取り組みます。大学院生や研究員同士のネットワーク・パートナーシップの推進はもちろんのこと、横浜市など自治体との連携協定や、岡山大学・信州大学などの大学間包括連携協定を結び、新たな価値創出に貢献しています。

2 **4** 質の高い教育をみんなに

SDGs達成に向けた実践研究と出版

持続可能な社会の実現に向けた、質の高い実践的教育を、修士号・SDGs新事業プロジェクト研究・SDGs関連の出版・セミナーを通して実践します。また、質の高い教育を提供するための教育者の育成を、実務家教員養成課程などを通して実践します。さらに、2030年に社会人になる小中学生に対しても、SDGs啓発や地球やまちの持続性についての教育を行います。

3 **8** 働きがいも経済成長も

新事業を通じた地域における雇用創出

地域の活性化や、新たな事業の開発を通して、働きがいのある仕事を多数生み出す事を通して、様々な働き方や就業機会を増やすことに貢献します。例えば、農山漁村地域の活性化プロジェクト「ランナーズ・ビレッジ」などを通して人口減少地域・過疎地域においては、持続可能な事業を開発しつつ、新たな仕事を創出していきます。

4 **9** 産業と技術革新の基盤をつくろう

イノベーションの促進

イノベーションの促進や、産業の多様化、商品への付加価値創造を、事業構想大学院大学の研究・教育を通して実践しています。264名の事業構想修士課程生を輩出し、SDGs新事業プロジェクト研究では、110名の研究員が参画しています。すでに多くのイノベーションが生み出しています。

5 **11** 住み続けられるまちづくりを

持続可能な地域社会の実現

持続可能な地域社会を実現するために、地域における活性化を、名古屋・大阪・福岡といった地域においても、事業構想大学院を開校しています。栃木県・飯田市など地域においても事業構想家を輩出するプログラムを実施しています。さらに今後は、47都道府県に事業構想大学院大学の設立を目指し、地域における持続可能性の実現を目指します。

事業構想大学院大学として、 国連アカデミック・インパクト (UN Academic Impact)への参加



SDGsへの具体的な実践事例

- 1 : SDGs新事業プロジェクト研究
 - 大阪校 (1期・2期・3期・4期)
 - 東京校 (1期・2期・3期・4期・5期・6期)
 - 名古屋校 (1期)
 - 1社型 —地域

- 2 : SDGsメディア
 - 書籍「SDGsの基礎」
 - 書籍「SDGsの実戦」
 - 書籍「ESG経営の実践」
 - 「SDGs経営」
 - 「環境・人間会議」



- 3 : 地域活性・ローカルSDGs
 - 地域循環共生圏
 - ランナーズ・ビレッジ (農山漁村地域の活性化)

- 4 : 連携・パートナーシップ
 - 岡山大学との大学間包括連携協定
 - 信州大学との大学間包括連携協定
 - 横浜市との連携協定
 - 富山市との事業構想研究会
 - 小諸市・カクイチとの包括連携協定
 - 能登SDGs新事業プロジェクト研究
 - 山形市との連携協定 等

大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025 共創パートナー」

大阪・関西万博は、SDGs万博とも言われます。2020年12月に、関西・大阪万博「TEAM EXPO 2025 共創パートナー」に参加しました。MESAP（MPD Team EXPO / SDGs Acceleration Program）は、異なる資源・スキル・経験を持つ学内および学外ネットワークメンバーを有機的に結合し、SDGsの達成に寄与する新事業の構想と実践を通じて、持続可能な未来社会の構築に積極的なリーダーシップを発揮します。

*：MESAP= 本学におけるTeam EXPOならびにSDGsを推進するためのプログラムの総称

院生・修了生のチャレンジ

- 院生・修了生の事業構想の実現に向けたチャレンジ
- 院生・修了生勉強会にて2025に向けた構想を検討

プロジェクト研究でのチャレンジ

- SDGs新事業プロジェクト研究内での取り組み
- 拠点である大阪校でのプロジェクト研究内での取り組み

新たなチャレンジ

- 大阪・関西万博での共創を基にした新事業の開発

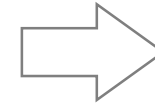
大阪・関西万博概要

- 開催期間：2025年4月13日(日)～10月13日(月) 184日間
- 開催場所：大阪 夢洲(ゆめしま)
- 会場面積：約155ha
- 想定来場者数：約2,800万人
- 経済波及効果(試算値)：約2兆円
- メインテーマ：
いのち輝く未来社会のデザイン
“Designing Future Society for Our Lives”
- サブテーマ：
Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives(いのちに力を与える)
Connecting Lives(いのちをつなぐ)



理想の未来を描き、その姿を実現するために

- 新たな価値の創出（社会、人材） = 価値デザイン社会
- 世界の共感を得る・持続可能な事業



サステナブル
クリエイティビティ

「価値デザイン社会」への挑戦

Society5.0の実現

多様な個性・
想像力の融合

共感の醸成

+

デジタル
革新

||

価値の創出・社会課題の発見と解決

元手は 地域資源と人材

- ◎経営資源を見つける、見出す。
- ◎自らを取り巻く環境や、強みに気付く、発見する、磨く。
- ◎多様で多彩、異質な人的ネットワーク
- ◎暗黙知を形式知に。企業の知恵や経験を再現可能なモデルに落とし込む

経営資源を生かしたイノベーション
理想となる構想を考え、
実現のための構想計画を研究する

クリエイティビティ+MBA
持続可能な事業を進化発展させる
アイデアを形に

独自性を標準化させたカリキュラムで、
人材の個性と能力を引出す
仲間を動かし組織を変えるモチベーション

事例 ランナーズ・ヴィレッジ (全国7地域)

人材育成

観光

RUNNERS VILLAGE



事例 ▶ ランナーズ・ヴィレッジ(山口県山口市)



地域の宿(民泊)・食・体験にランニングを組み合わせ、ランナー向けのパッケージとして販売中。(主体:山口観光コンベンション協会)



Run 周防大橋をランニング



宿 民泊先での家庭料理



体験 尻川湾での SUP 体験



食 郷土料理「瓦そば」



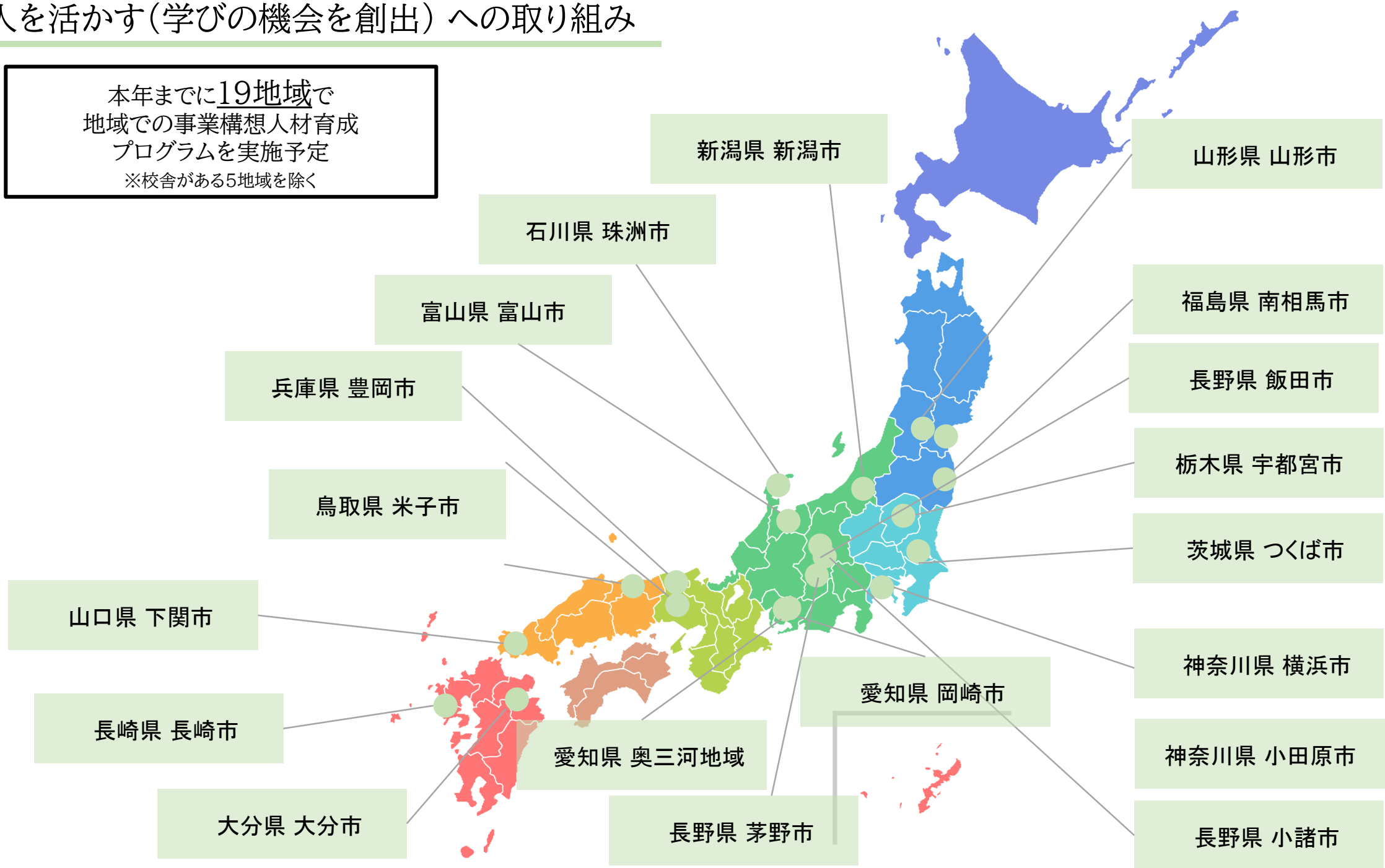
体験 寺院での座禅・ヨガ



Run 畑と菜花の間をランニング

人を活かす(学びの機会を創出) への取り組み

本年までに19地域で
地域での事業構想人材育成
プログラムを実施予定
※校舎がある5地域を除く



共創事例

岡山大学 教育研究交流および協力に関する包括連携協定



山形市 地方創生の推進に係る包括連携に関する協定



新潟市 にいがた2kmに関する連携協定



小諸市 まちづくり包括連携協定

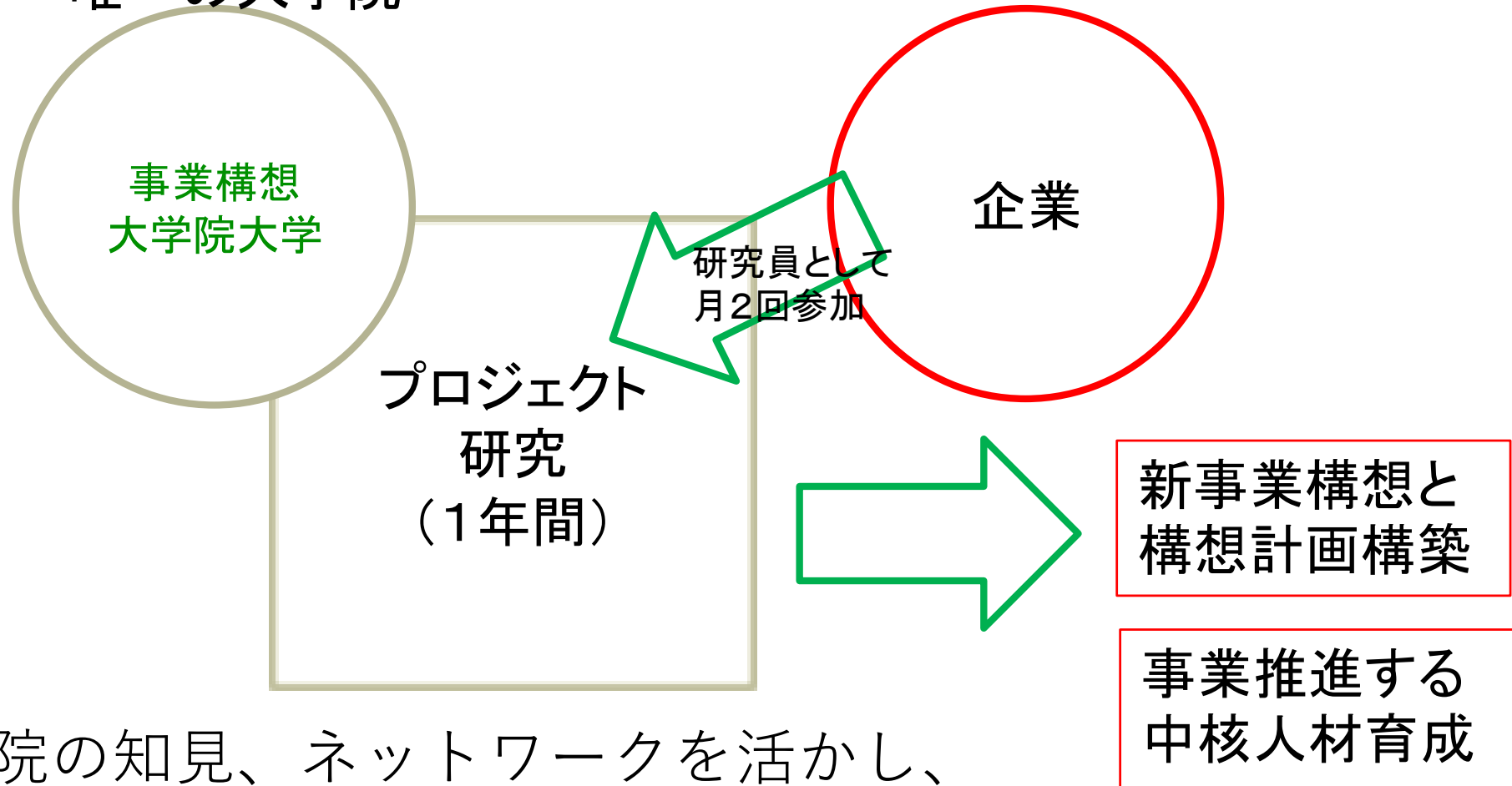


茅野市 「若者に選ばれるまち」の実現に向けた包括連携協定



事業構想大学院大学 プロジェクト研究

新事業構想に特化した
唯一の大学院



大学院の知見、ネットワークを活かし、
リベラルな場で新事業を構想構築していく。

事例 | 地域の経営資源を活かす新事業開発 <プロジェクト研究>



栃木県にある「社会的課題」を解決する「事業構想」を策定し、社会的課題に対峙する人材の育成を目的に開講。下野新聞社とNEZASホールディングス、事業構想大による産官学連携で2期にわたって開催した。



日本一のおんせん県であり、アジア初の「宇宙港」となる<九州・大分>。2021年4月より、大分合同新聞社との共催で新規事業開発のための研究会を開講し、地域の未来を担う人材育成を推進。



事例 | 地域の経営資源を活かす新事業開発 <プロジェクト研究>



南相馬市
プロジェクト研究

連携協定：福島県南相馬市

- ・ 3月8日に南相馬市、事業構想大学院大学の二者は「地方創生及び人材育成の推進に係る連携に関する協定」を締結。5月「南相馬市プロジェクト研究」を開講した。
- ・ 初年度は「南相馬鹿島サービスエリアのポテンシャル、多様な地域資源を活用した事業構想の構築」をテーマに開催。常磐自動車道・南相馬鹿島サービスエリアの利用者を地域に呼び込むような新規事業が期待される。
- ・ 研究員は、市役所職員、市内外の企業、大手企業の県内支社の社員等が参加。インフラ、建設業、観光業、メディア等、複数の業種が集まる。
- ・ 12月15日、研究の一環として「南相馬鹿島サービスエリア周辺開発に向けたサウンディング型市場調査」を実施することを発表した。



プロジェクト研究の開始式には、門馬市長も登壇

事例 | 産官学連携 人を活かす（学びの機会を創出） 取り組み

若者に選ばれるまち
プロジェクト研究

茅野市 ・ キッツ ・ 事業構想大学院大学

「若者に選ばれるまち」の実現に向けた包括連携協定



2022/7/28 茅野市役所にて連携協定締結式 左から、今井敦氏（茅野市長）、河野誠氏（キッツ代表取締役社長）、田中里沙（事業構想大学院大学学長）

キッツから茅野市への企業版ふるさと納税を財源に、
「若者に選ばれるまちプロジェクト研究」を発足。

「若者に選ばれるまち」をテーマに、地域に関わる多世代、多様な業種の人材が議論し、未来を構想。暮らしやすい未来都市・茅野の構築を目指す。

期間：2022/9～2023/3 全20回
担当教員：下平拓哉 事業構想大学院大学教授
研究員：一般公募から選考された10名



研究会はKITZ Groupイノベーションセンターやワークラボ八ヶ岳で実施する。

多様な主体の共創と、知の共有による成長

地域社会に新たな価値を創出

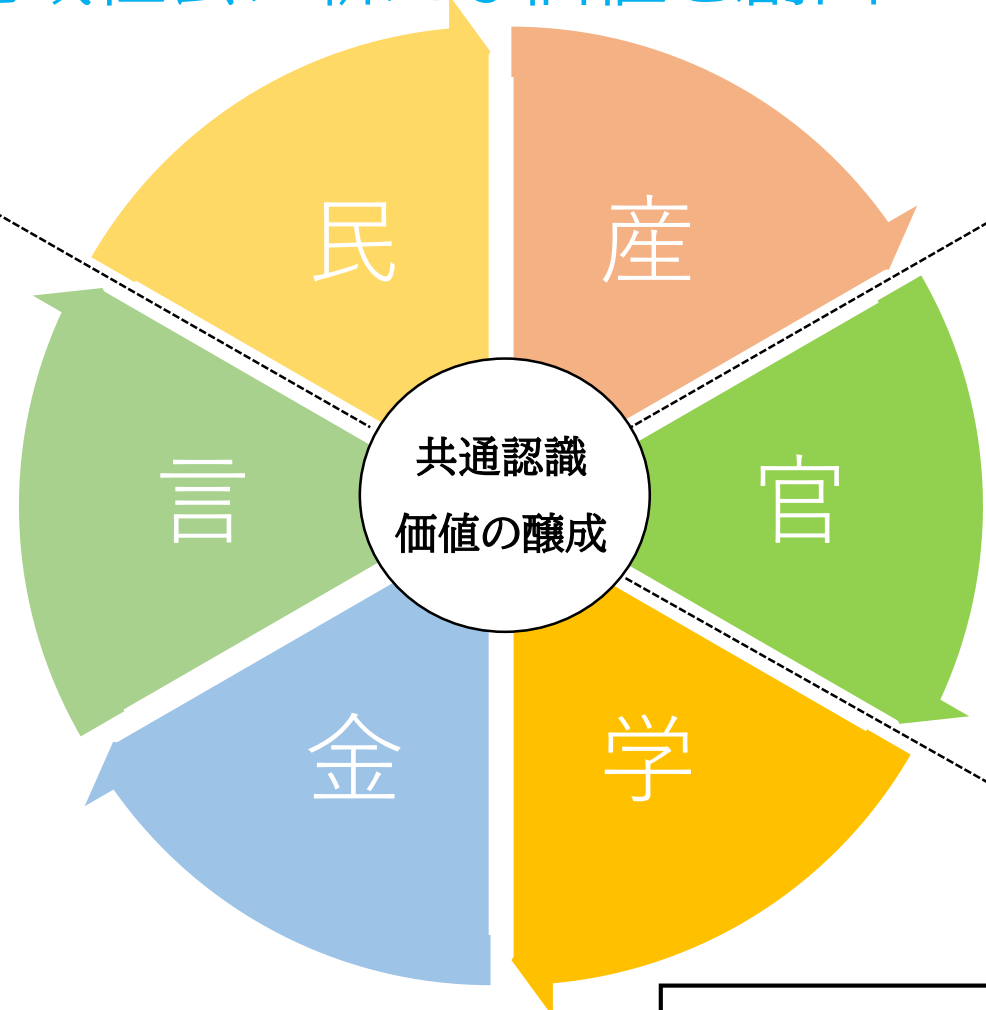
プロデュース



コーディネート



クリエイティビティ



- ✓ 強みとなる専門性を互いに活かす
- ✓ 幅広い視野をさらに広げる
- ✓ 資源の有効活用とガバナンス